

2020年11月6日

山万株式会社

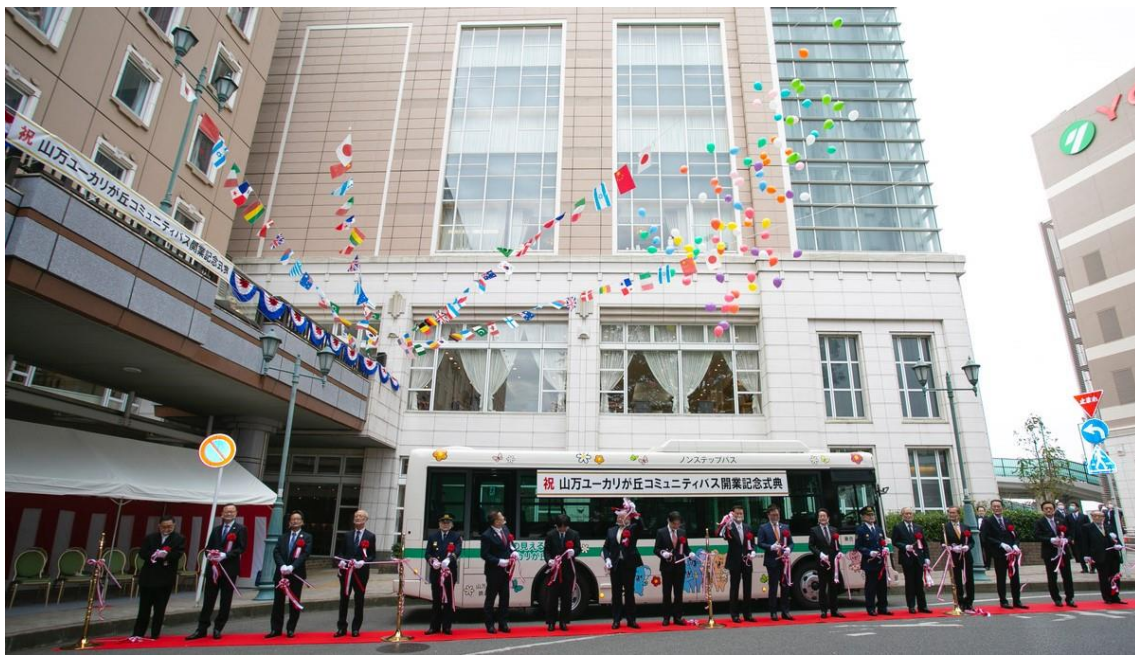
ユーカリが丘コミュニティバス 開業記念式典を開催いたしました。

11月7日（土）より運行を開始します！

千葉県佐倉市ユーカリが丘を開発する街づくり企業・山万株式会社（本社：東京都中央区日本橋小網町6番1号、代表取締役社長：嶋田 哲夫、以下「山万」）は、2020年11月7日（土）より、千葉県佐倉市ユーカリが丘地域において、新規の路線バス事業（以下「ユーカリが丘コミュニティバス」）を開始いたします。

事業開始に先立ちまして、開業記念式典を2020年11月6日（金）に開催いたしました。

国土交通省関東運輸局長河村俊信様、千葉県知事森田健作様、佐倉市長西田三十五様を含め多くのご来賓の方にご参加いただき、華やかに出発式を開催いたしました。



テープカットの様子

国土交通省関東運輸局長河村俊信様（左から9番目）、千葉県知事森田健作様（右から9番目）、佐倉市長西田三十五様（左から8番目）、山万(株)代表取締役社長嶋田哲夫（右から1番目）



試乗会用バス出発前の様子

式典においては、山万(株)代表取締役社長の嶋田哲夫より「コロナ禍での開業となりましたが、今回のコミュニティバスはユーカリが丘線の補助交通として、また高齢者や子育て中のママさんたちの移動手段としてご利用いただき、地域の活性化に少しでも役立てればと考えております。」とご挨拶させていただきました。さらに河村関東運輸局長より「山万ユーカリが丘線と同様に地域住民の足として定着し、利便性の向上によってユーカリが丘の魅力を一層高めていく存在になることを期待しています。」、森田知事より「山万独自の交通システムとして、高齢者や子育て世代の大きな力になってくれるでしょう。」、西田市長より「誰もが安心して出歩くことができる快適な生活環境の整備が求められている中で、外出支援による健康増進や交流人口の増加など、ユーカリが丘だけでなく佐倉市の発展に寄与するものと大いに期待しています。」とご期待のコメントをいただいております。

今回のコミュニティバスは、ユーカリが丘ニュータウンの中心を走る山万ユーカリが丘線を補完し、周辺の住宅地や商業施設、福祉施設や病院などを含めた街中を網の目のように運行するとともに、ユーカリが丘線で発行する定期券や回数券でも乗車することも可能です。これにより、高齢者や子育て世代が暮らしやすく社会参加しやすい住環境を実現し、日常生活における移動手段をシームレスに提供できるようになります。

また来年2月より、山万(株)・ジョルダン(株)・パナソニック(株)が協力し、「顔パス決済乗車」の実証実験を行い、乗降データの検証後に山万ユーカリが丘線の改札と連携や、電気バスから電動モビリティに至るまでの街の交通網をシームレスに機能させてMaaSの実現を目指します。

これに先立ち、式典において河村関東運輸局長、森田知事、西田市長ほか皆様に、実際に「顔パス乗車」を体験いただきました。



ご挨拶をされる関東運輸局長河村俊信様



ご挨拶をされる千葉県知事森田健作様



挨拶する山万(株)代表取締役社長 嶋田哲夫



「顔パス乗車」をご体験される佐倉市長西田三十五様

◆ユーカリが丘コミュニティバス（ユーカリが丘ニュータウン循環線）概要

運行系統数：5路線

運行時間：8：20～20：50

運行車両数：7台（中型ノンステップバス(60人乗)4台、小型ノンステップバス(27人乗)3台）

車いす・ベビーカーの利用可能

料金形態：大人（中学生以上）：200円 小人（小学生以下）：100円

※山万ユーカリが丘線で発行する有効期限内の定期券及び回数券により、本コミュニティバスも乗車できます。詳細は <https://town.yukarigaoka.jp/yukariline/bus/> をご参照願います。

これにより SDGs の 17 の大きな目標に掲げられている中で、特に「9 産業と技術革新の基盤をつくろう」と、「11 住み続けられるまちづくりを」の達成に向けた取り組みに邁進してまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを



【参考：「ユーカリが丘」概要】

1971 年に開発が開始された今年で 50 年目を迎えるニュータウン。千葉県佐倉市に立地し総開発面積 245ha（計画総人口約 3 万人）で、山万株式会社が開発を手掛けています。「自然と都市機能が調和した 21 世紀の新・環境都市」を目指し、京成本線ユーカリが丘駅周辺の住宅・商業一体の超高層建築物を含む立体開発と、新交通システム「山万ユーカリが丘線」の各駅徒歩 10 分圏内に展開される一戸建の平面開発を行ってきました。1997 年から「千年優都…シティミレニアム」をテーマに「いつまでも住み続けられる街づくり」に挑戦し続けている。（2020 年 9 月末現在人口：18,753 人、世帯数：7,687 世帯）

※シームレス交通：乗り継ぎ等の交通機関の「継ぎ目」や交通ターミナル内の歩行や乗降に際しての「継ぎ目」をハード・ソフト両面にわたって解消することにより、出発地から目的地までの移動を全体として円滑かつ利便性の高いものとする。

※MaaS (Mobility as a Service)：ICT を活用し、バスや電車、タクシー、飛行機など、自家用車以外の全ての交通手段による移動を、ひとつのサービスで完結させることを指す。

※SDGs (Sustainable Development Goals)：2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標

本件に関するお問合せ先

コミュニティバス運行について：山万(株)鉄道事業部 担当：直井、吉田 電話：043-487-5036
記念式典・顔認証について：山万(株)企画部 担当：久須見、武藤 電話：043-487-6381

顔認証・チケット管理機能について：ジョルダン(株) 担当：松本、山本 電話：03-5369-4054
ユーカリが丘公式タウンポータルサイト：<https://town.yukarigaoka.jp/>